

(宮崎県商工会議所連合会共同事業)

# 宮崎県内企業景況調査報告書

(2003年10～12月期)

## 第31回

宮崎県商工会議所連合会

(幹事：宮崎商工会議所)

# 目 次

- 1 . 実施概要
- 2 . 調査結果（D I の推移）
- 3 . 概況
- 4 . 県内の景気動向
  - （1）前期比（平成15年7～9月との比較）
  - （2）前年同期比（平成14年10～12月との比較）
  - （3）来期見通し（平成16年1～3月の見通し）
- 5 . 業種別の景気動向
  - （1）製造業
  - （2）建設業
  - （3）卸売業
  - （4）小売業
  - （5）サービス業（飲食関連・観光関連を含む）
- 6 . 経営上の問題点
- 7 . 今後の対応策
- 8 . 国・県等への要望

# 1. 実施概要

## (1) 回答率

調査対象企業数	500社
回答企業数	244社
回答率	48.8%
(業種別)	
製造業	83社
建設業	54社
卸売業	24社
小売業	39社
サービス業	44社
合計	244社

## (2) 実施時期

平成15年10～12月期(平成16年1月に実施)

## (3) 調査内容

調査対象1四半期について前期比、前年同期比及び来期見通しについて、売上高(出荷額・受注額)、採算(経常利益ベース)、資金繰りの状況、仕入れ単価(資材、原材料、商品)、雇用(労働力)状況(含むパート)、設備投資計画、業況の項目ごとに景況感を調査した。

## (4) 調査対象

県内9つの商工会議所(宮崎・都城・延岡・日向・高鍋・日南・小林・串間・西都)の地域の実情を考慮して、製造業、建設業、卸売業、小売業、サービス業の5業種で合計500社を調査対象とした。

## (5) 調査方法

県内9商工会議所において、それぞれの地域の調査対象企業へ調査票を送付し、回答を返信用封筒及びファクシミリで返信していただき、それぞれの商工会議所で行った調査結果を宮崎商工会議所専門経営指導センターにインターネットを活用して返信し、集計分析を行った。

## 2. 調査結果 (D I)

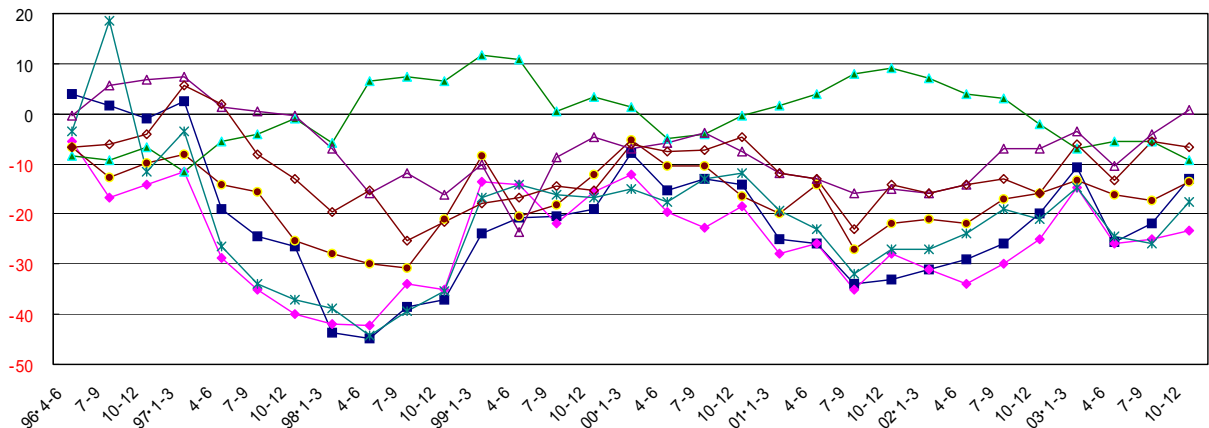
### D Iとは (景況判断指数) とは

D Iは、売上・採算・資金繰り・仕入価格・雇用状況・設備投資・業況などの各項目についての、判断状況を表します。

ゼロを基準として、プラス値で景気の上向き傾向を表す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値で景気の下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示します。従って、売上高などの実数値の上昇率を示すものではなく、強気・弱気などの景気感の相対的な広がりを意味します。

- 売上 D I = ( 増加回答の割合 ) ( 減少回答の割合 )
- 採算 D I = ( 好転 " ) ( 悪化 " )
- 資金繰り D I = ( 好転 " ) ( 悪化 " )
- 仕入価格 D I = ( 下落 " ) ( 上昇 " )
- 雇用状況 D I = ( 不足 " ) ( 過剰 " )
- 設備投資 D I = ( 拡大 " ) ( 減少 " )
- 業況 D I = ( 好転 " ) ( 悪化 " )

### 前年同期比 ( 全企業 D I の推移 )



	01/4-6	7-9	10-12	02/1-3	02/4-6	7-9	10-12	03/1-3	4-6	7-9	10-12
売上	-26.2	-21.4	-32.6	-30.9	-28.5	-26.2	-20.2	-10.7	-25.6	-22.0	-13.1
採算	-25.8	-25.0	-28.2	-30.5	-33.8	-29.9	-24.8	-14.7	-26.0	-25.0	-23.4
資金繰り	-13.6	-28.6	-21.6	-21.3	-21.5	-17.0	-16.3	-13.3	-16.1	-17.4	-13.5
仕入価格	3.6	7.1	8.6	7.4	4.3	3.0	-2.3	-7.1	-5.4	-5.5	-9.4
雇用状況	-12.6	-17.9	-15.3	-16.2	-13.6	-7.4	-7.4	-3.6	-10.3	-4.2	0.8
設備投資	-13.2	-25.0	-14.0	-16.2	-14.2	-12.5	-16.3	-6.2	-13.2	-5.5	-6.6
* 業況	-22.5	-17.9	-26.9	-27.2	-23.5	-19.2	-21.3	-14.7	-24.4	-14.8	-17.6

### 3. 概況

#### 今期は年末需要で回復するも、見通し不安は変わらず

##### (1) 今期の特徴

前期比では、前回調査時に「来期は(7~9月期に10~12月分が)改善」との結果とおり、「仕入価格」以外の項目でDI値が好転した。業種別では、「公共工事の減少」、「競争の激化」の建設業が足を引っ張った形となっているものの、焼酎・IT関連が好調な製造業、年末需要のあった卸・小売業が牽引した形となった。

前年同期比においても、「売上」、「業況」が若干の改善をみせたものの、「仕入価格」を除く他の項目でDI値が前回調査とほぼ不変。業種別では、「消費の低迷」、「競争激化」が続いている小売業が悪化したが、他業種の数値は若干の改善をみせた。「前年よりは上向いたが、実質(悪い状況)は変わらない」とものとみられる。

ただ、「仕入価格」が上昇してきているのが気になる。

##### (2) 来期の見通し

来期の見通しについては、「雇用状況」を除く全ての項目でDI値が悪化している。

コメントをみても、「年末需要の反動」(卸・小売)に加え、相変わらずの「消費低迷」、「競争激化」の影響かと思われる。

##### (3) 経営上の問題点

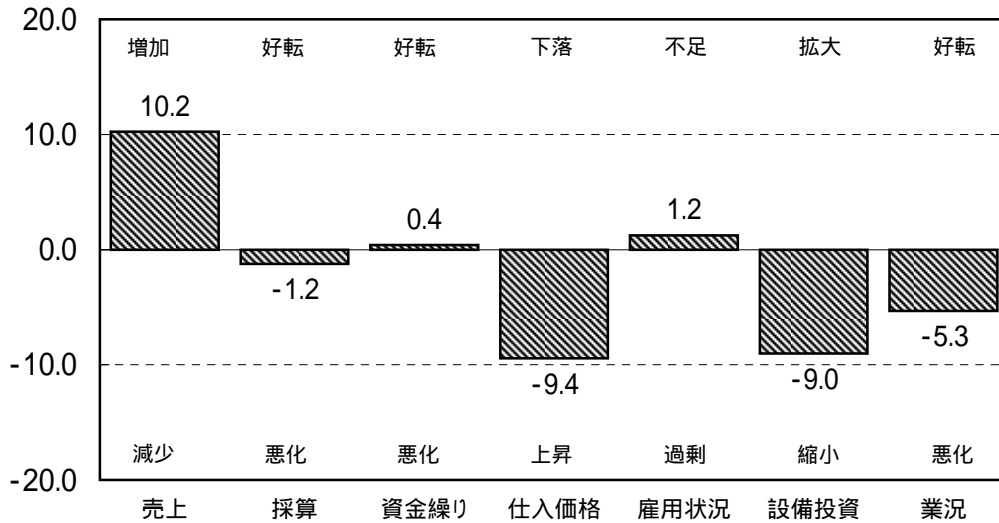
今回は上位の順位に変動はなく、やはり「需要の停滞」が圧倒的1位で、2位が「製品(販売)単価の低下・上昇難」となっており、引き続き長引く景気低迷をあらわしている。

##### (4) 今後の対応策

今回も、1位が「新規市場を開拓したい」、2位が「その他合理化を実施したい(製造工程の簡素化など)」、3位が「人件費を削減したい」となり、上位3項目については前回と変動はなかった。

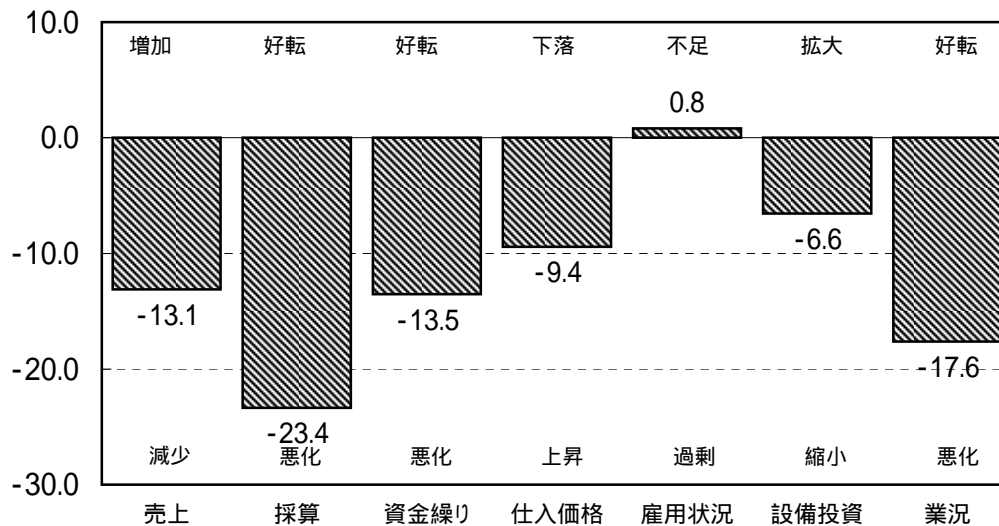
## 4. 県内の景気動向(全業種)

前期比(平成15年7～9月比)



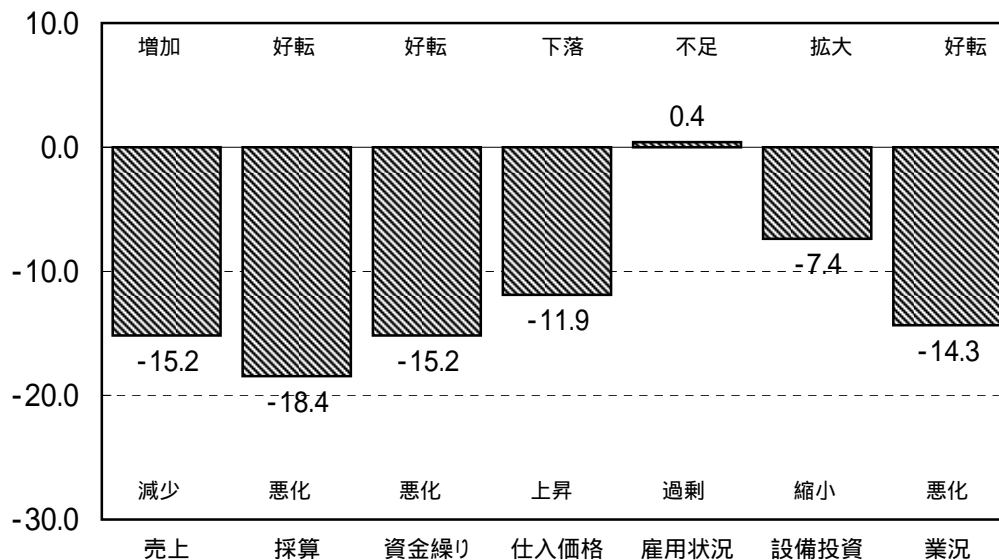
「公共工事の減少」の影響大である建設業が厳しいが、焼酎・ITが牽引する製造業、年末需要のあった卸・小売業が貢献し、売上のDI値がプラスに転じる等改善をみせた。

前年同期比(平成14年10～12月比)



焼酎・IT・一部住宅関連が好調な製造業だが、個人消費の停滞・競争の激化が続いている小売業が足を引っ張り、一進一退の状況となっている。

来期見通し(平成16年1～3月見通し)

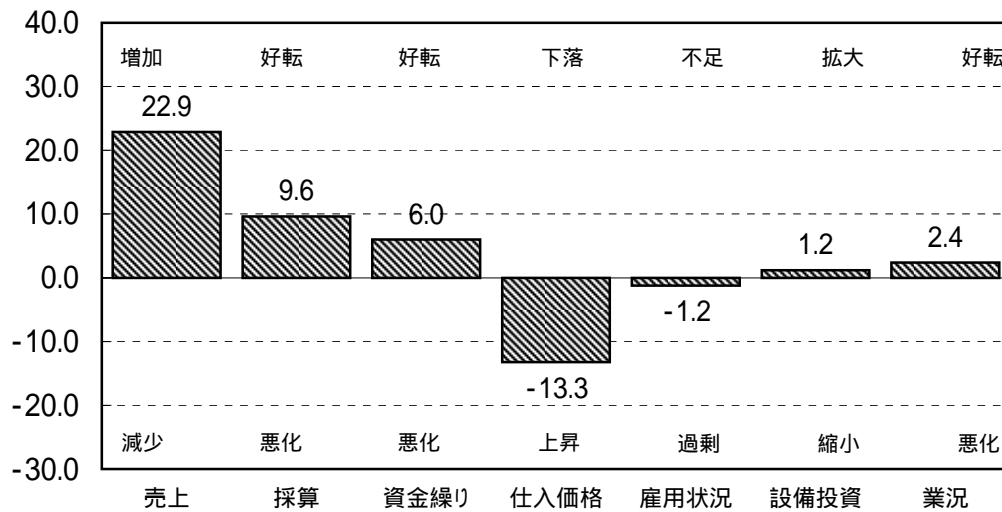


「年末需要の反動」(卸・小売)の要因のほか、「公共工事の減少」、「需要の停滞」、「競争激化」は相変わらずの状況で、前回調査よりDI値は悪化している。全業種にわたり、原材料・仕入の悪化を示しているのが気にかかる。

## 5. 業種別の景気動向

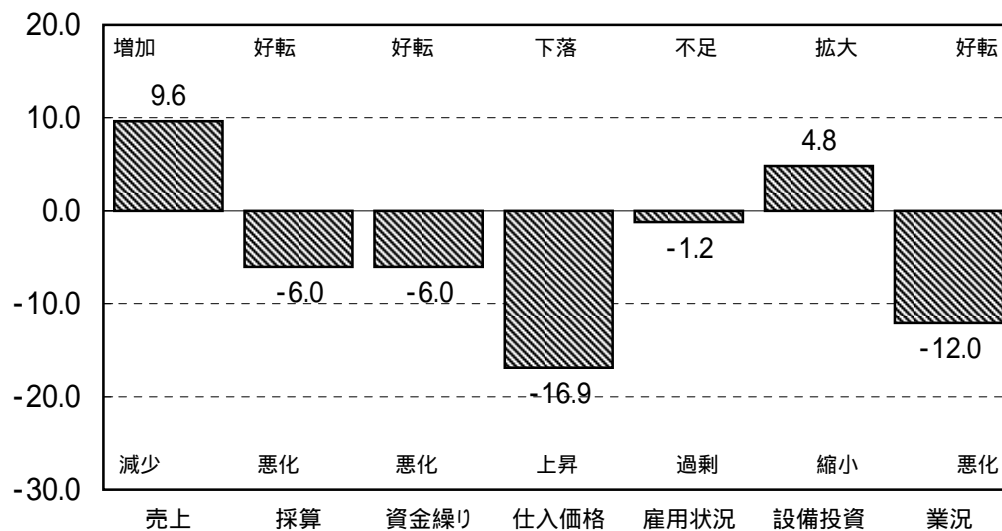
### (1) 製造業

前期比(平成15年7～9月比)



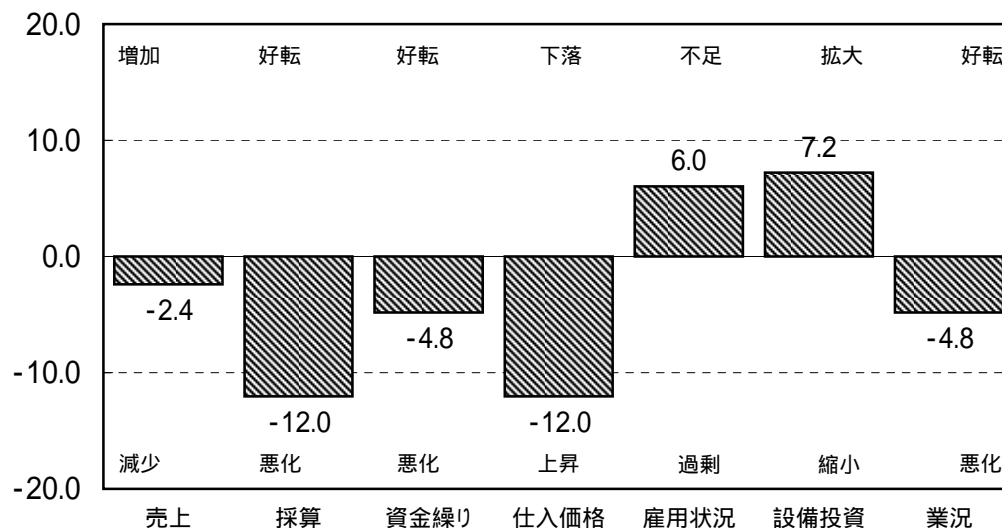
「焼酎ブーム」(焼酎製造)、「IT関連の受注増」(電子部品)に加え、「住宅ローン減税の駆け込み需要」(製材業)、「季節的要因」(食料品、コンクリート、印刷)等が重なり、前回調査に比べ大きく改善した。

前年同期比(平成14年10～12月比)



焼酎・IT・一部住宅関連は前年同期比でも改善しているものの、「顧客からコストダウン要求」、「景気の低迷」、「競争激化」、「原材料アップ」の声も聞かれ、前回調査比では、売上のみ改善している。

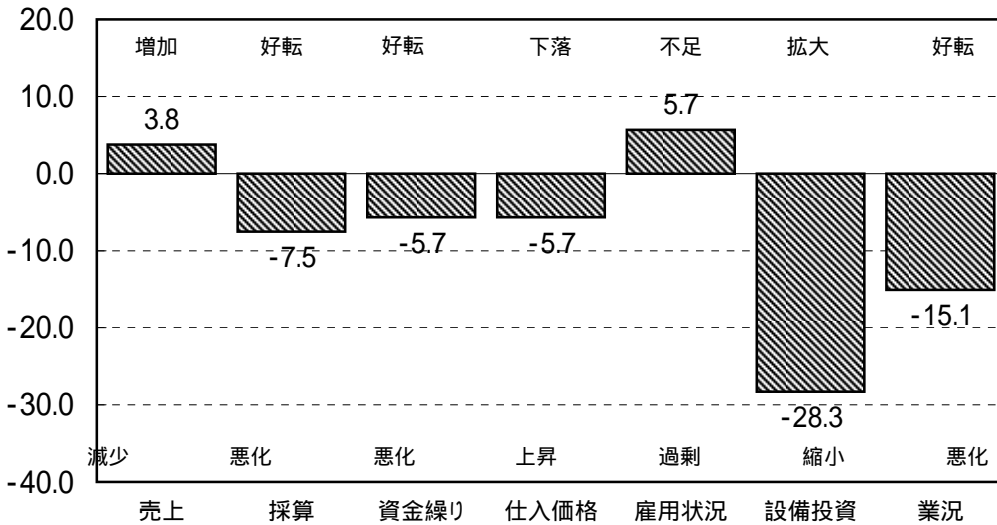
来期見通し(平成16年1～3月見通し)



「平均単価減」、「大きな変動はない」などや、「今期好調の反動」(木材製造)、「官公庁の受注が少ない」(塗装、木材)などの声が大きく、来期の見通しは悪化を予想している。

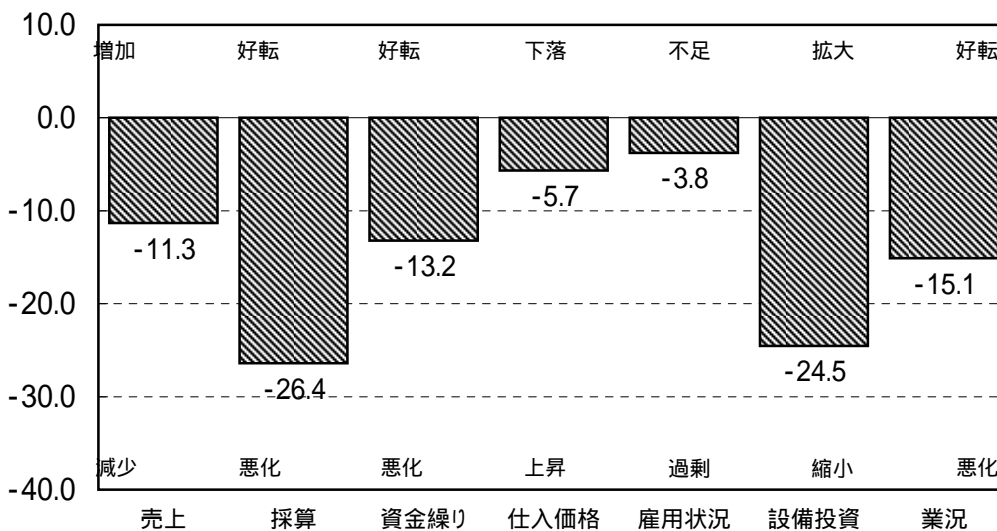
## (2) 建設業

前期比(平成15年7～9月比)



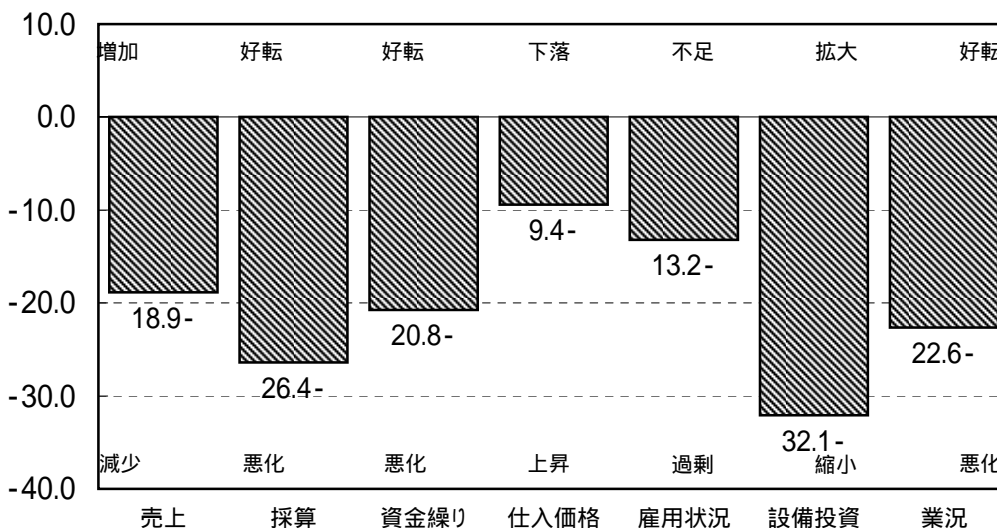
「公共工事の減少」、「競争の激化」につける。「材料費の上昇」も追い討ちをかけ、一部住宅の減税駆け込み需要の恩恵の足を引っ張った形で、DI値は前回調査とほぼ同じ数値を示した。

前年同期比(平成14年10～12月比)



前回調査に比べ、DI値は改善しているものの、寄せられているコメントは「(業界)全体的に受注減」が圧倒的に多い。「前年よりは少々上向いているが、実質(悪い状況)は変わらない」ものとみられる。

来期見通し(平成16年1～3月見通し)

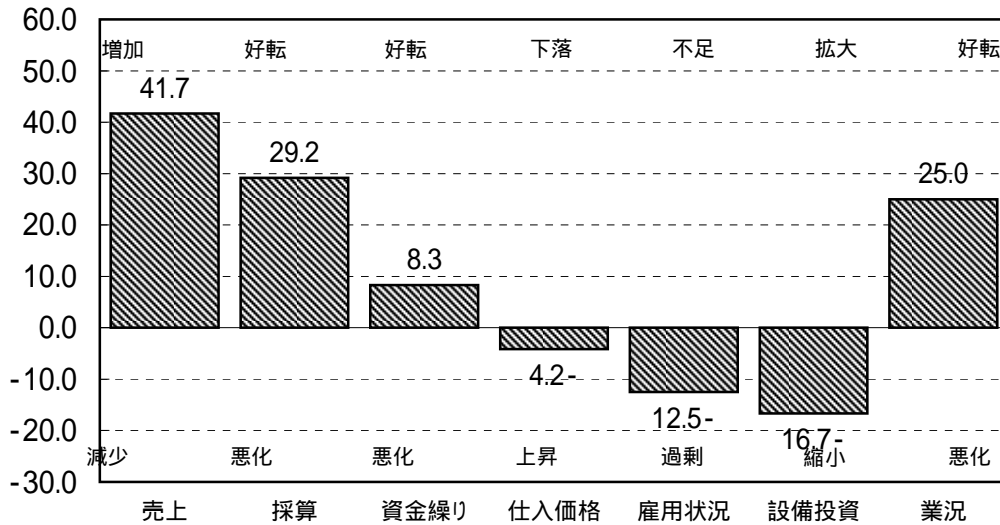


「年度末に完成工事が増加」するものの、「材料費の値上げ」、「受注単価の下落(競争の激化)」、そして「公共工事の減少」により、来期の見通しは弱気の声が多かった。



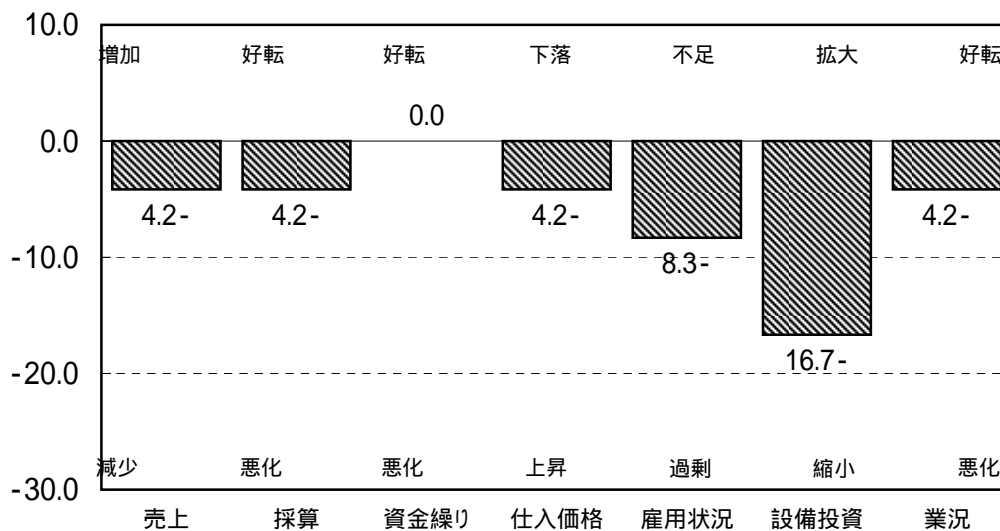
### (3) 卸売業

前期比(平成15年7～9月比)



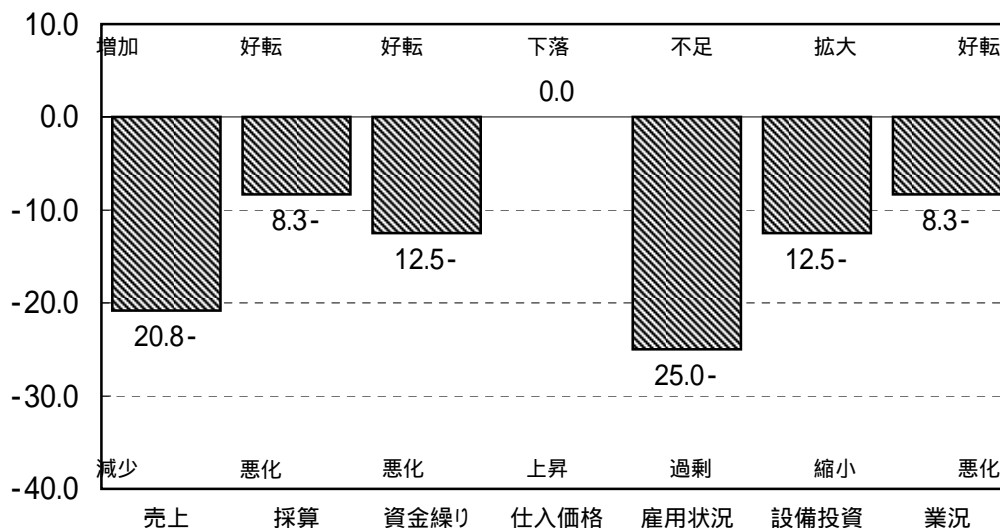
「住宅減税の駆け込み需要」(建設資材卸)、「季節的要因(年末需要)」(生活用品、食料品)、「焼酎ブーム」(酒類卸)などが重なり、前回調査を大幅に上回る数値を示した。

前年同期比(平成14年10～12月比)



相変わらず「需要の停滞」(青果卸)、「不況による歳暮市場の縮小」(食品卸)だが、「昨年が悪すぎた」(紙文具事務機卸)、「横ばい」(衣料品卸)など業況不変と回答が増えたおかげで、若干の改善をみせた。

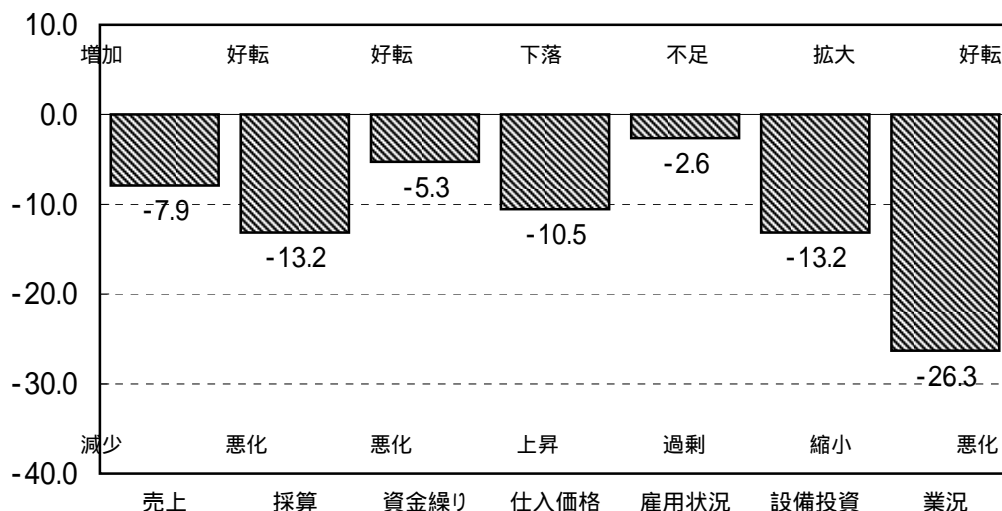
来期見通し(平成16年1～3月見通し)



年末需要の恩恵の反動か、食料品卸・魚介類卸に弱気な声が多かった。自助努力を実行している企業もあるが、「まだまだ辛抱の日々が続くと思う」(家庭用品日用品卸)が現状を的確に表しているものと思われる。

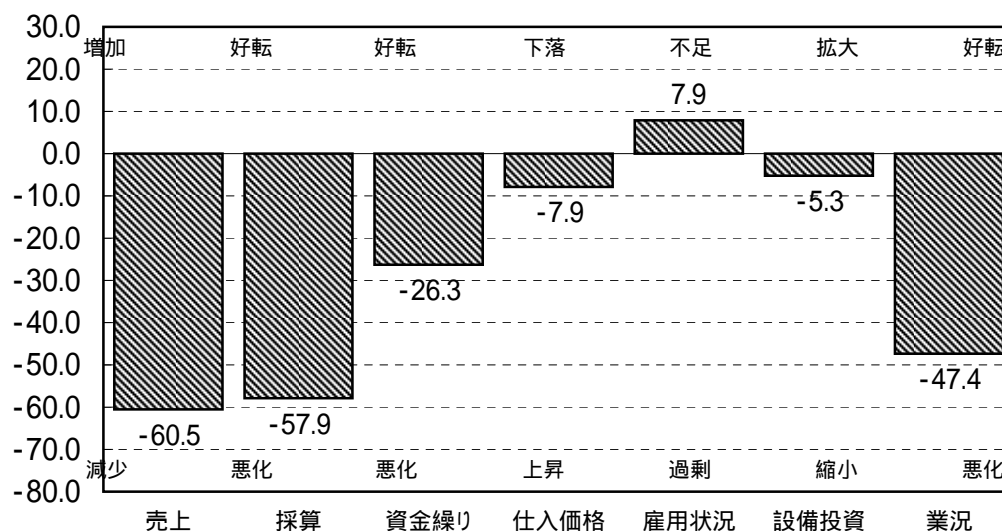
## (4) 小売業

前期比(平成15年7～9月比)



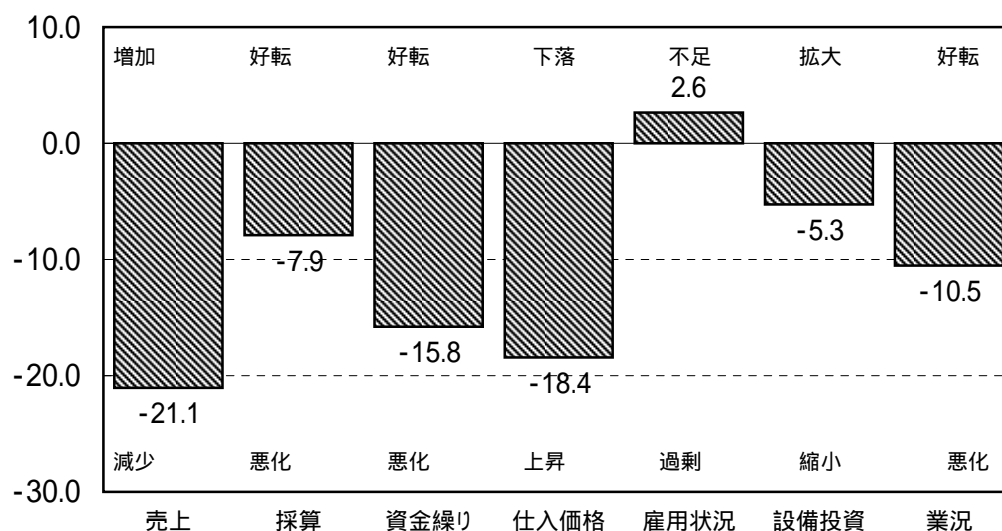
「競合店増」(総合小売)、「野菜の値上がり」(総合食品スーパー)などのマイナス要因があるものの、「最需要期」(酒類販売)などのように、夏枯れから年末需要への移行を受け、前回調査より改善をみせた。

前年同期比(平成14年10～12月比)



「何事も変わらない」(酒類小売)、「売上横ばい」(切花鉢物)の声もあったが、全体的に「個人消費の停滞」、「競争の激化」は不変で、前回DI値より悪化、水準としても大きなマイナス値を示した。

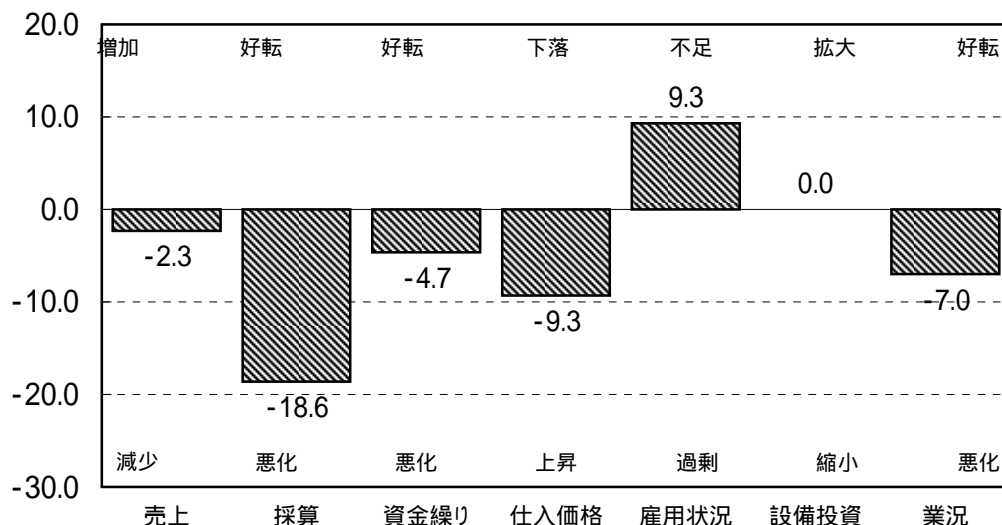
来期見通し(平成16年1～3月見通し)



「季節的要因」でプラス、マイナスの企業が並存するも、「好転材料がない」(総合百貨店)、「個人・法人とも需要の停滞」(衣料品・食料品)などに代表されるように、消費の低迷からの脱却はまだできていないとみられる。

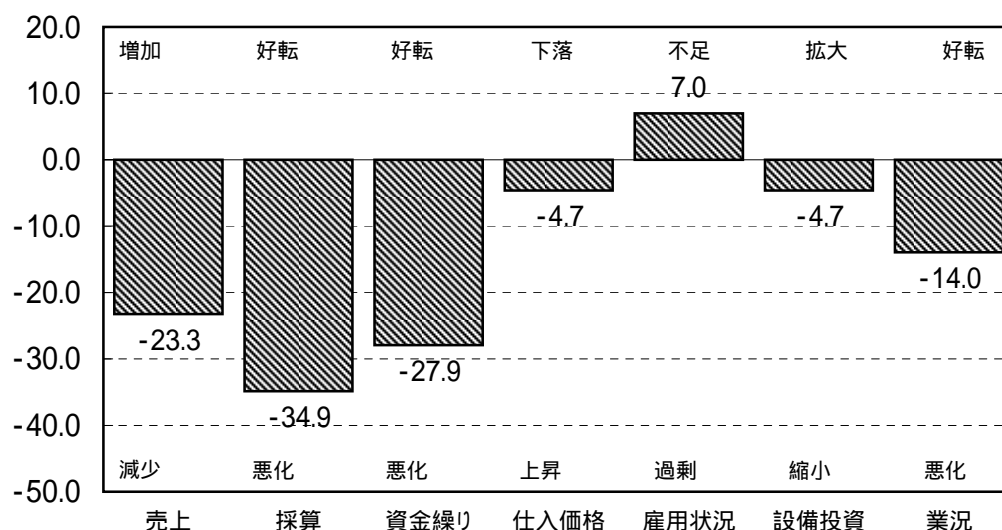
## (5) サービス業(飲食関連・観光関連を含む)

前期比(平成15年7～9月比)



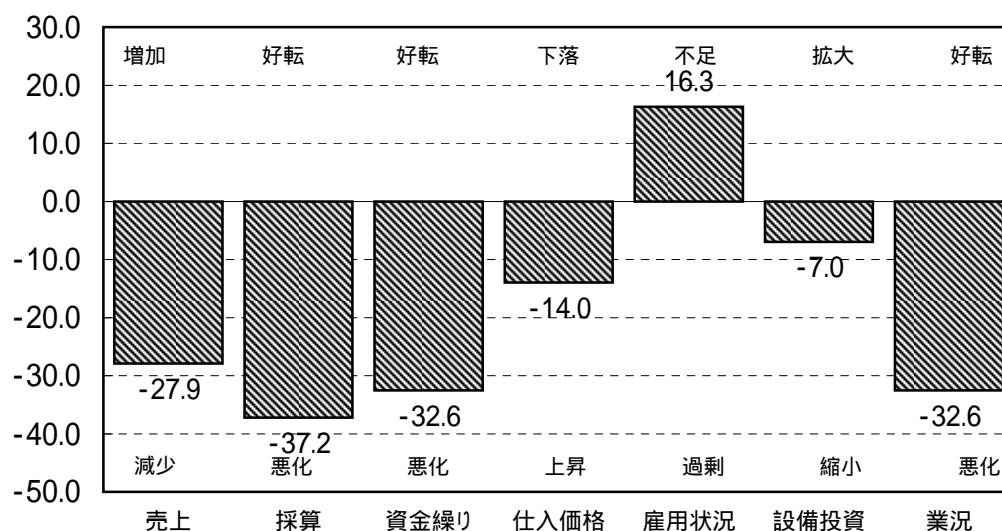
「客単価の低下」(ホテル)、特に宮崎では「新規ホテル進出 価格競争」などの要因があるも、プロ野球秋季キャンプ、「県外ビジネス客に活気が見え始めた」(レンタカー)等のおかげで、前回値より若干改善をみせた。

前年同期比(平成14年10～12月比)



「宴会の減少」、「値下げ競争」、「ツアー客減」(ホテル)、一部地域でのホテル増だが、「IT関係の投稿増」(放送増)、「液晶テレビ増」(運送業)もあり、一進一退の状況かとみられる。

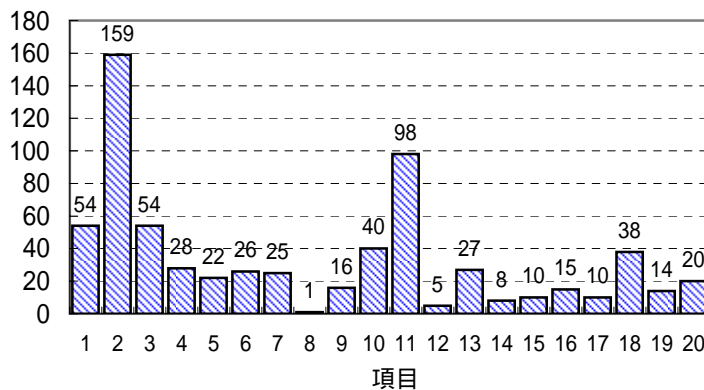
来期見通し(平成16年1～3月見通し)



「プロ野球キャンプに期待」、自助努力を目標にあげる企業もあるが、「合宿、長期滞在客が少ない」(旅館業)、「飲食業の状況が悪すぎる」(リースキン)とほとんどの項目で悪化している。

## 6. 経営上の問題点

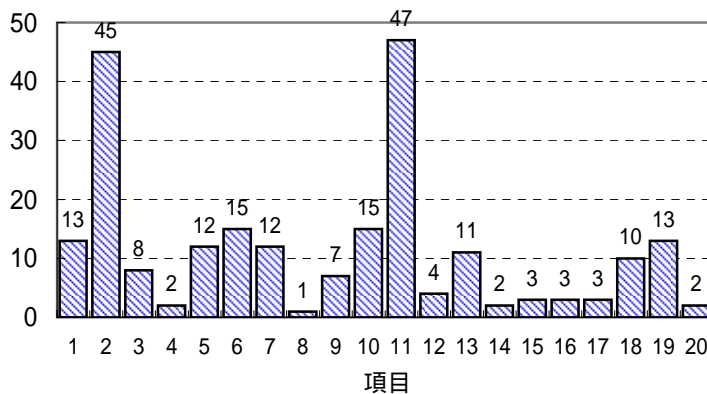
全業種



順位

- 1位 需要の停滞
- 2位 製品(販売)単価の低下・上昇難
- 3位 県外大手企業の進出による競争の激化
- 3位 県内大手企業の事業展開による競争の激化
- 5位 人件費の増加

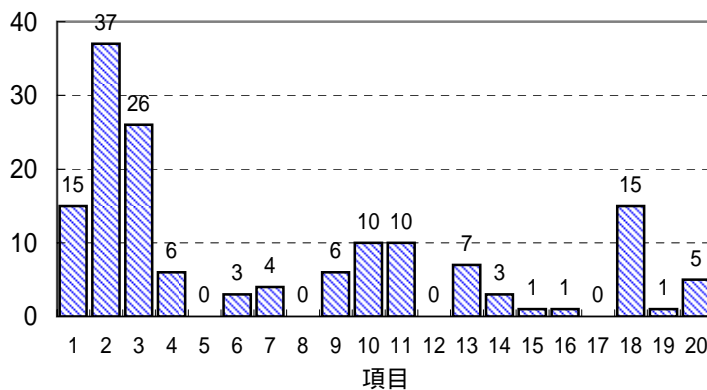
製造業



順位

- 1位 製品(販売)単価の低下・上昇難
- 2位 需要の停滞
- 3位 製品ニーズの変化
- 3位 人件費の増加
- 5位 県外大手企業の進出による競争の激化

建設業



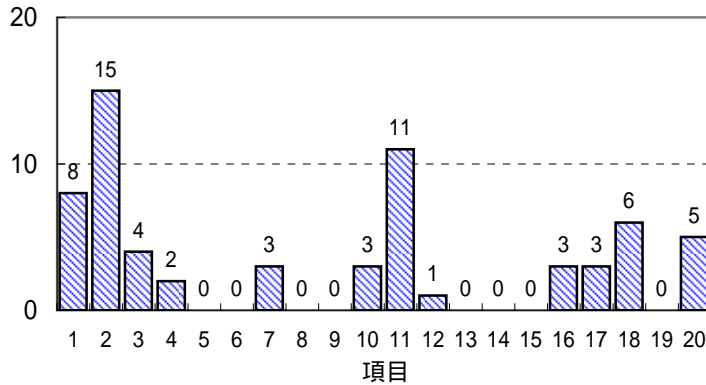
順位

- 1位 需要の停滞
- 2位 県内大手企業の事業展開による競争の激化
- 3位 県外大手企業の進出による競争の激化
- 3位 取引条件の悪化
- 5位 人件費の増加

### 項目一覧

- |                        |              |
|------------------------|--------------|
| 1. 県外大手企業の進出による競争の激化   | 2. 需要の停滞     |
| 3. 県内大手企業の事業展開による競争の激化 | 4. 新規参入業者の増加 |
| 5. 生産設備の不足             | 6. 製品ニーズの変化  |
| 7. 原材料(仕入単価)価格の上昇      | 8. 生産設備の過剰   |
| 9. 原材料・人件費以外の経費の増加     | 10. 人件費の増加   |
| 11. 製品(販売)単価の低下・上昇難    | 12. 原材料の不足   |
| 13. 熟練技術者(従業者)の不足      | 14. 金利負担の増加  |
| 15. 従業員の不足             | 16. 事業資金の借入難 |
| 17. 商品在庫の過剰            | 18. 取引条件の悪化  |
| 19. 円高による海外製品との競争激化    | 20. 代金回収の悪化  |

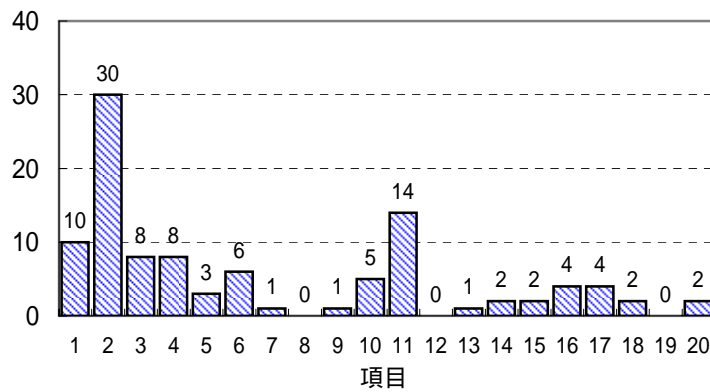
### 卸売業



#### 順位

- 1位 需要の停滞
- 2位 製品（販売）単価の低下・上昇難
- 3位 県外大手企業の進出による競争の激化
- 4位 取引条件の悪化
- 5位 代金回収の悪化

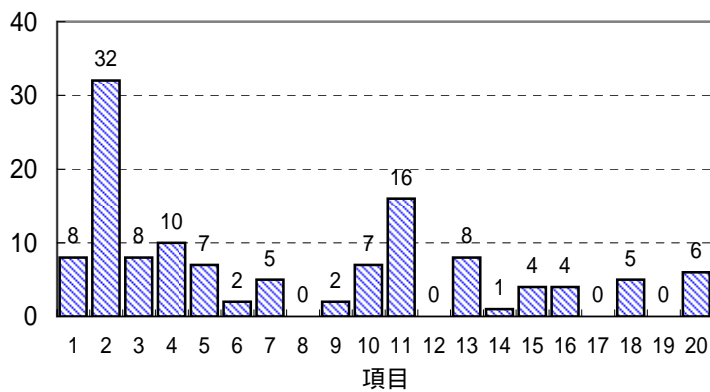
### 小売業



#### 順位

- 1位 需要の停滞
- 2位 製品（販売）単価の低下・上昇難
- 3位 県外大手企業の進出による競争の激化
- 4位 県内大手企業の事業展開による競争の激化
- 4位 新規参入業者の増加

### サービス業



#### 順位

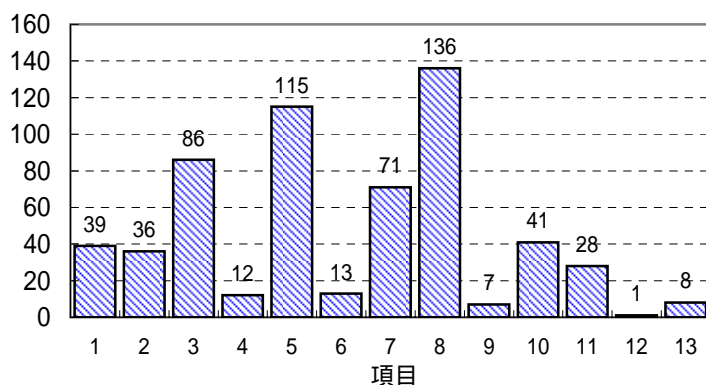
- 1位 需要の停滞
- 2位 製品（販売）単価の低下・上昇難
- 3位 新規参入業者の増加
- 4位 県外大手企業の進出による競争の激化
- 5位 県内大手企業の事業展開による競争の激化

#### 項目一覧

- |                        |              |
|------------------------|--------------|
| 1. 県外大手企業の進出による競争の激化   | 2. 需要の停滞     |
| 3. 県内大手企業の事業展開による競争の激化 | 4. 新規参入業者の増加 |
| 5. 生産設備の不足・老朽化         | 6. 製品ニーズの変化  |
| 7. 原材料（仕入単価）価格の上昇      | 8. 生産設備の過剰   |
| 9. 原材料・人件費以外の経費の増加     | 10. 人件費の増加   |
| 11. 製品（販売）単価の低下・上昇難    | 12. 原材料の不足   |
| 13. 熟練技術者（従業者）の不足      | 14. 金利負担の増加  |
| 15. 従業員の不足             | 16. 事業資金の借入難 |
| 17. 商品在庫の過剰            | 18. 取引条件の悪化  |
| 19. 円高による海外製品との競争激化    | 20. 代金回収の悪化  |

## 7. 今後の対応策

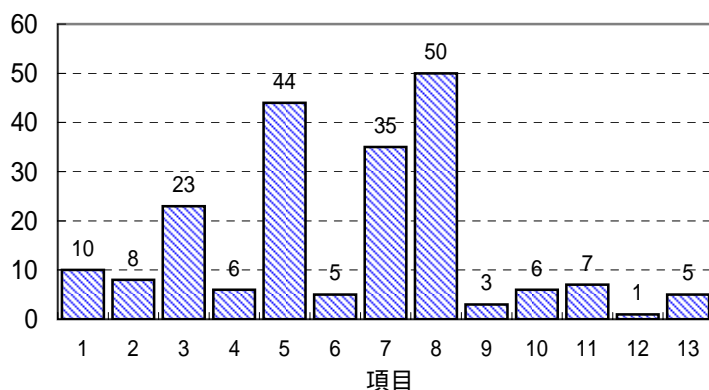
全業種



順位

- 1位 新規市場を開拓したい
- 2位 その他の合理化を実施したい
- 3位 人件費を削減したい
- 4位 新製品の開発を行いたい
- 5位 経営の多角化を行いたい

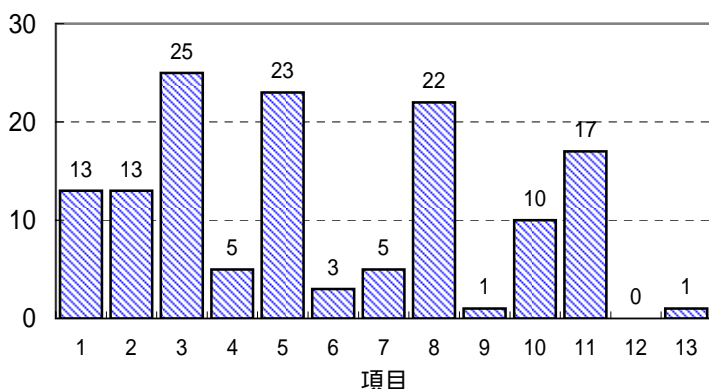
製造業



順位

- 1位 新規市場を開拓したい
- 2位 その他の合理化を実施したい
- 3位 新製品の開発を行いたい
- 4位 人件費を削減したい
- 5位 新規採用を見合わせたい

建設業



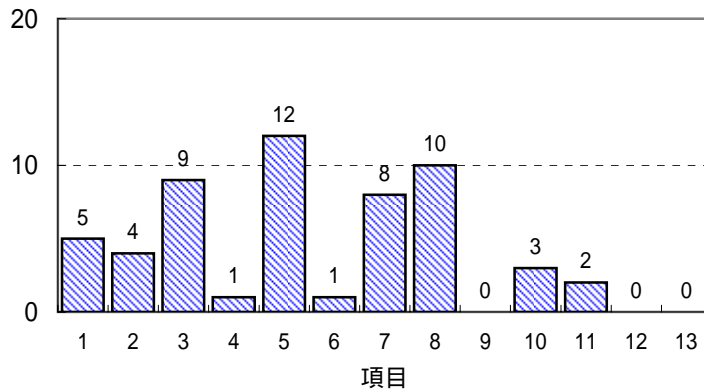
順位

- 1位 人件費を削減したい
- 2位 その他の合理化を実施したい
- 3位 新規市場を開拓したい
- 4位 下請け発注を減らしたい
- 5位 新規採用を見合わせたい

### 項目一覧

- |                              |                      |
|------------------------------|----------------------|
| 1. 新規採用を見合わせたい               | 2. 雇用調整を行いたい(1を除く)   |
| 3. 人件費を削減したい                 | 4. 生産調整を行いたい(操業短縮など) |
| 5. その他の合理化を実施したい(製造工程の簡素化など) |                      |
| 6. 設備投資を縮小したい                | 7. 新製品の開発を行いたい       |
| 8. 新規市場を開拓したい                | 9. 業種転換を行いたい         |
| 10. 経営の多角化を行いたい              | 11. 下請け発注を減らしたい      |
| 12. 海外へ生産拠点を移したい             | 13. 海外から原料・部品を調達したい  |

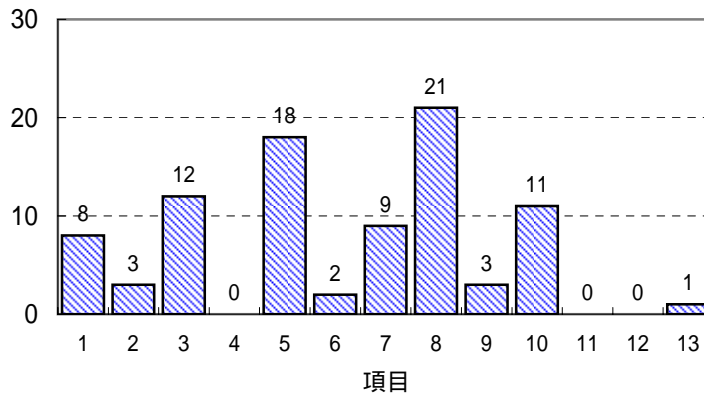
## 卸売業



### 順位

- 1位 その他の合理化を実施したい
- 2位 新規市場を開拓したい
- 3位 人件費を削減したい
- 4位 新製品の開発を行いたい
- 5位 新規採用を見合わせたい

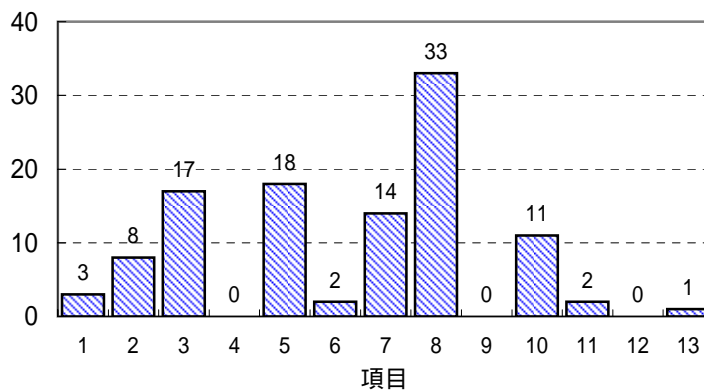
## 小売業



### 順位

- 1位 新規市場を開拓したい
- 2位 その他の合理化を実施したい
- 3位 人件費を削減したい
- 4位 経営の多角化を行いたい
- 5位 新製品の開発を行いたい

## サービス業



### 順位

- 1位 新規市場を開拓したい
- 2位 その他の合理化を実施したい
- 3位 人件費を削減したい
- 4位 新製品の開発を行いたい
- 5位 経営の多角化を行いたい

## 項目一覧

- |                               |                       |
|-------------------------------|-----------------------|
| 1. 新規採用を見合わせたい                | 2. 雇用調整を行いたい (1を除く)   |
| 3. 人件費を削減したい                  | 4. 生産調整を行いたい (操業短縮など) |
| 5. その他の合理化を実施したい (製造工程の簡素化など) |                       |
| 6. 設備投資を縮小したい                 | 7. 新製品の開発を行いたい        |
| 8. 新規市場を開拓したい                 | 9. 業種転換を行いたい          |
| 10. 経営の多角化を行いたい               | 11. 下請け発注を減らしたい       |
| 12. 海外へ生産拠点を移したい              | 13. 海外から原料・部品を調達したい   |

## 8. 国・県への要望

業種名	事業内容	略名	国県への要望
製造業	封筒	都城	景気が徐々に回復しつつあると言われてはいますが、まだまだ実感できない状況である。この状況に遅れることなく対応していくのが重要である。
製造業	農園芸養蚕資材	都城	パート労働者の厚生年金加入の話があり、据え置きになりましたが民間企業の中小企業経営者にとっては死活問題になります。銀行からの融資が厳しい状況で、少しでも採算を良くするにはパート労働者の雇用は戦力に貢献している。厚生年金加入となると事業主負担が増加し人件費増加で経営存続に大きく影響します。
製造業	製材業	都城	民事再生法をやめてもらいたい。折角コストを下げて自助努力を行い競争に勝ってもエンドレスで競争を行っていかねばならない。
製造業	木製収納家具製造業	都城	内閣府の発表では輸出好調により実質経済成長率がプラス成長を維持していますが、GDPの6割を占める肝心の個人消費が低迷を続けています。これからの年金制度改革や増税等が個人消費回復の足を引張るのではと懸念しています。
製造業	金属製品製造業	宮崎	全国的には景気回復の兆しありと報じられているが、実感に乏しい。生産拠点を海外にシフトする傾向が強まっているが、国内での投資活動を活発化するためにも、地方での立地に優位な政策を展開してほしい。造成工業団地の長期賃貸や賃向上など、地方進出の魅力づくりに努めて欲しい。
製造業	印刷業	宮崎	県の印刷業に対して、発注のやり方が、実に不平等である
製造業	輸送機器製造業	宮崎	現在、為替が円高に推移し続けている。これ以上の円高は、企業の採算性に大きな悪影響を与える。行政として円高阻止を徹底して実行してほしい。
製造業	酸素等の高圧ガス製造	宮崎	製造業を中心とした企業誘致の増加
製造業	事務機製造業	宮崎	強いてあげれば、東九州の構想道路を早く整備していただき、県の景気を上げて欲しい
製造業	食品製造	延岡	内税方式の表示については無駄な経費が要るばかりで、消費者や流通業にとっては何のメリットもありません。デメリットのみを我々に押し付けるな。役人ヨ！いい加減に官僚の都合の良い政策、施策を押し付けるな。法律でしるな！
製造業		延岡	既に突入している高齢化社会であるが、若い世代に活気がないと将来が見通せない。少子化問題を解決できなければ年寄りばかりが溢れる日本に明るい未来は無い。高卒、大卒の新規雇用に力を入れなければ、企業も景気も老朽化してしまう。
製造業	木工所	延岡	①「国際競争力をつける」国の諸施策が、中小零細企業の倒産と失業者の増加を招き、国内経済の混迷を深めている側面があると思う。②急激な規制緩和や改革は、地方経済の立ち直りに悪影響を及ぼしているのではないかと思う。
製造業	化学品製造	延岡	国内向けの商売は荷動きが悪い。輸出が頼りだがそのためには¥/\$レート of 安定が必須。政治の出番である。
製造業	電機機械器具製造業	延岡	海外援助より、国内景気回復の為に金を使って欲しい。
製造業	鉄工業	日向	公共工事の地元優先発注への意識が未だ薄く感じられる。(地元企業がどれ位のレベルの仕事まで出来るのかを把握していないのでは？)(※鉄工関係の話です。)
製造業	食品工業	日向	物流の円滑な運搬等のために、道路建設を推進してほしい。
製造業	各種自動機械設計製作	日向	中小企業景気対策が望ましい。
製造業	砂糖製造・販売	日向	農産物WTO、FTA交渉の如何が国内生産物との競争の結果及び海外製品の輸入増加で価格下落が懸念され、一方で国内生産物の保護政策により課徴金の徴収の負担でダブルパンチを受ける可能性あり、トータル的に農政の検討を期待したい。
製造業	リレー製造業	日南	改正派遣法に対する準備(行政の方向性)に対する企業側の取り組みの難しさが課題といえる。



製造業	コンクリート製品	日南	季節的要因で3月中旬頃までは若干忙しいが、その先は状況が悪くなると思われる(公共事業の減少で)。特に県南が先行きが暗い。今忙しいのも出荷先は県中、北部、鹿児島県向けが大半で地元の需用は激減している。
製造業	自動車金属部品製造	日南	今の時期は道路工事が多くてイヤになります。官公庁も予算を全て使い切るという手法からコストダウン方式を取り入れてやっていくべきではないか？税金をもっと有効に使ってもらいたい。
製造業	各種印刷	小林	小泉さんシッカリガンバッテ！
製造業	焼酎製造販売	串間	地元生産の「赤芋・規格外」地産地消という観点から、地元メーカーからの要望のある「数量」は優先して、地元への取引が出来るよう行政・商議所等からも支援して頂きたい。(原料確保の為、芋集荷業者(JA等)に確実なる予約を行いたい。)
製造業	印刷業	西都	これまでの国、県に対する要望を受け改善なり等の対策がとられた具体例をあげてほしい
建設業	建設業	都城	公共工事の増加を特に願いたい。
建設業	建築設計	都城	地方においてはまだ景気が上向いてきた実感がない、まず景気対策をしっかりやっていただきたい。特に宮崎や都城において全国から家を建て住んで見たいというような街づくりや環境づくりをやっていただきたい。
建設業	一般土木建築工事業	宮崎	宮崎県内における雇用の実態からしても、高校事業の占める重要性を勘案し、予算配分をお願いしたい
建設業	建築工事業	宮崎	建設業を取り巻く環境は年々悪化傾向にあり、廃業の増大、雇用不安など憂慮すべき事態に立たされており、企業の存続さえ余談を許さない状況にあります。国及び県等の配慮により早期の予算成立と年度を通じた切れ目のない早期発注をお願いしたい
建設業	土木建築工事請負	宮崎	公共工事の削減問題については、急激な発注額削減を実施して建設業界・各企業の死活問題にならないように行政の配慮をお願いしたい
建設業	電気工事	宮崎	県では来期以後大幅な公共工事の削減を提案しておられますが、これでは受注する機会が少なくなり、経営を圧迫し、新規雇用は無論できず、人員削減も視野に入れています。
建設業	建設業	宮崎	宮崎県はまだまだインフラの整備が遅れている。将来やるべき事業を前倒し発注して、景気を刺激・雇用の増大を図っていただきたい。また、行政、マスコミは、競争激化を助長し低価格で受注するをよしとしているが、利益率の低下は財務体質を弱らせ、技術・技能力の低下、福利厚生費の削減等につながり、経営・生産・労働意欲が減退、よい製品が生まれにくい環境である。
建設業	生コン製造 建設業	宮崎	宮崎の産業特性を考えると、公共事業に頼るところが大である。国全体としての削減は進められるとしても、地域性を考慮して欲しい。
建設業	管工事水道施設工事	宮崎	宮崎県財政再建計画の見直し
建設業	電気設備工事	宮崎	県内の官公庁工事については県内の企業に発注をお願いしたい
建設業	鉄工全般精密機械	宮崎	まだまだ地方は厳しい状況です。その上、材料費が月ごとに値上げされており、価格への上乗せを考えているところです。
建設業	建設業	延岡	デフレスパイラルが浸透して世の中は若干落ち着いているように見える。全てのところで収入不足がおきており、景気が今一步パツとしない。国はどこで(消費税の値上げ)解決を図るのだろうか。景気が良い方が良い。
建設業	建設業	日向	公共事業削減により景気がよくなり、税収も伸びないので悪循環である。
建設業	造園工事・生産販売	日向	造園工事業のため公共工事の減少となる。但し、生活環境の改善で緑と花で生活環境の改善は必要と考える。行政は公共工事の配分を十分考えて頂きたい。
建設業	建設業	日向	県発注(市)の物件減少にて指名がない。県や市は指名業者の物件の内容に適正な業者(例、国県が定める資格、免許取得)であるか、調査確認をしているか不明である。指名や発注が一部の業者へ集中しない様な指名が望ましい。

建設業	建設業	日向	県公共工事の発注格差(地域差)がない様に計画してもらいたい。(県央地域に集中している)
建設業	建築塗装	日向	・民間企業に設備投資できる力を！・行政の景気対策は税金投入になるが、中小企業が活力を持てば景気は良くなる。中小企業を大切に。
建設業	鉄骨建築業	高鍋	環境問題に関する補助金、例えば太陽光発電(2004.3月で終了?)の延長及び拡大。生ゴミの問題、各家庭にバイオの生ゴミ処理機、工場・飲食業に於いては大型の処理機の補助金。併せて公共工事の拡大。
建設業	土木建設業	日南	受注減により社員の残業や給料カット等検討し固定費削減に努める
建設業	電気水道工事	小林	公共工事の拡大。デフレ対策の早期実現。
建設業	建設業	西都	県、市町村の公共事業の確保
卸売業	食料品卸売業	都城	法人税、年金、社会保険料率等の引き下げ。特殊法人の全廃、官僚の天下り廃止、規制緩和、地方公務員の削減。
卸売業	生活文化用品、百貨卸	宮崎	景気が上向きと聞いているが、これは一部の大企業で、我々中小企業は相変わらず消費不況。県外からの企業進出はある程度規制ができないものか？また、県内の企業取引を条件づける等、地元中小零細企業に対する支援が必要(延岡のジャスコがこの例で、どれだけの零細企業が泣いたことか？)
卸売業	家庭用品日用品卸売業	宮崎	バブル期を中心とした債務が解消されず、資産デフレも重なり、単年度の黒字転換をきっかけに、合理化前の債務と現況を区別して資金調達ができることが望まれるが、中小企業対策として金融支援と企業再生のための施策を考えて欲しい
卸売業	建設資材販売施工	延岡	行政に望むことより自社努力しか企業発展はないと思っています。
卸売業	食品卸売	日向	自由経済社会の民間企業として、国に施策を求めることはありません。
小売業	贈答品販売業	都城	消費者から見た都城のマーケットは非常に魅力的になってきているがオーバースタ状況なので、当社の現状を維持するのは大変困難である。だからこそ知恵を絞ってお客様に支持される商いをやっていけるかが課題である。今年も勝負の年、行政とも連携を図り自社そして都城の街の発展を実現したいと考えます。
小売業	服飾附属品・手芸	宮崎	安い料金で市営の駐車場をつくってほしい
小売業	全酒類卸小売	宮崎	規制緩和はよいこともあるけども、野放しでいいのだろうか。商店、〇〇屋をなくして、大資本の店舗のみ残すつもりなのだろうか。何か間違っていないだろうか。
小売業	自動車卸売小売	宮崎	税金、年金等サラリーマンの将来の生活不安の払拭
小売業	自動車販売整備	宮崎	社会保険料、年金問題による消費者の負担増、企業の負担増は問題
小売業	百貨店総合	宮崎	将来不安の解消
小売業	写真カメラビデオ販売	宮崎	4月より総額表示になるが、移行に費用がかかり困っている
小売業	切花鉢物販売	延岡	毎年のものであるが、不況という厳しい一年で終わらず、今年は景気も回復し活気のある一年になってほしいと願っている。
小売業	建築木材製品販売	日向	木材の納品時に付属品の販売で利益アップをはかる。公務員及び議員の数を市町村合併の時に最低人数に即削減。参議院の廃止(役に立ってない)天下りの廃止、これで税金は安定、数千億か兆の金が浮くと思う、年金も安定、よけいなものはいらぬ。
小売業	総合食料品スーパー	日向	特にございません。

小売業	カメラ・写真用品販売	日南	個人的には自分の会社であるので、生き残るためにあらゆる方法で経費見直しをしているのは、あたりまえだと思います。しかしもうどうにもならないところまで来ているのが現状だと思います。政府は大企業は景気が上向き明るさが見えてきたといいますが、当たり前でしょう。あれだけのリストラ、経費の削減をしたのですから。テレビ、国会ではイラク、イラク、イラクの問題ばかりである。国内の地方経済はどうなっていますか。早く中零細企業の景気浮揚策をしてもらわないと益々倒産が増え失業者があふれて、日本は沈没してしまいます。平成15年度全国480万社、中小企業99.7%、大企業0.3%雇用者中小企業7割、大企業3割です。よく考えてみて下さい。
小売業	家具、DIY	日南	対策なし
小売業	衣料品小売	西都	現在の状況から脱出しようともがいているが、なかなか抜けられない。現時点での当店の状況がなかなか見えず、ここ数年試行錯誤してきたが、ほんの少しではあるが見えてきたような気がする。それは1度原点に戻り、身の丈の商売をする。毎日毎日借入返済の事に追われてはお客が見えない。じっくり目を凝らして見るとぼんやり見える。そうなればネックになるのが現借入。県保証協会、国金はともかく、それ以外の借入をなくさなければ小額の資金を度々注入しても焼け石に水。従って利息2%~4%でなくていいから1事業の抱える借入をそっくりまとめてくれる融資があればいいと思う。できれば銀行は窓口だけでゴチャゴチャ言わずに、県や国が経営計画、資金繰り表(その場合、会議所の指導のもとに)をもとに直で融資を行ってくれる。それもできれば長期で、もしくは資金繰り表をもとに払える金額で払っていき、決済時期に借り換えなど。できれば、無保証は必須で担保は入れてもかまわない。例えば、経営改善資金は550万であるが、無保証で担保を入れた程は融資枠を広げてくれるなど。そういう形の物で2000万融資を受け、借入1本化すれば必ずや当店は生き残っていきます。いや、いかせませ。銀行はあくまでも商売です。銀行にいくら国の金をばらまいても本当に困っている事業には回ってきません。
サービス業	ホテル飲食業	宮崎	観光資源の再整備・強化。新幹線(鹿児島)からの観光客の導線を考えた九州回遊プラン宿泊ができる魅力あるイベントの開催。国際的なシンポジウム、スポーツ大会、キャンプなどの受け入れ側の整備。
サービス業	宿泊宴会会議等	宮崎	地域や業種別によっては、景況感がよくなっているみたいですが、地方の中小企業、特に非製造業はまだまだトンネルの中です。九州新幹線にしても、高速道にしても宮崎はつんぼさじきにされているようです(ひがみかな?)。
サービス業	不動産売買・管理	宮崎	メディア、金融機関、物価等をみると、宮崎県は底に入り、間もなく底を打つ感じがする。ただし、公共事業等の減少は国策であり、不景気を気にせず国策を遂行して欲しい。痛みなくして改革なし、欲しがりません活までは！20年前の日本を取り戻そう。
サービス業	旅館業	宮崎	相変わらず景気対策らしきことが実施されておらず、宮崎の現状は本当に極限の状況になりつつあります。自社努力にも限界がきていますし、金融機関もあてにならず、どこへ救いの手を求めていけばよいのか困っています。行政による特例の金融支援策を早急に要望します。それと具体的な観光事業活性化策の実施を望みます。
サービス業	タクシー営業	宮崎	生産性の低い労働集約型の産業に対して財政の支援や助成金・補助金の多様化を拡充していただき、底辺からの消費を活性化してもらいたい！
サービス業	観光写真業と喫茶店	宮崎	商工業の活性化なしでは国の発展はないのではないのでしょうか。先ず、国民の暮らしを考えて欲しいですね。商売人が儲けなければ国の活性化はないですね。国に申したい。内税方式はやめて欲しいですね。
サービス業	民間放送業	宮崎	IT、中国関連の景気に日本全体が引っ張られている。ここで政府が財政再建などで増税等国民負担をせず、あと数年じっとしていれば、景気は必ず回復する。
サービス業	総合不動産業	宮崎	まず、お金が回らない。子供を作るように将来のことを考えて、対策を打つべき。おのずと消費もあがるし、好況感も出てくると思う。外国人を入国させ、多くなるに従い、犯罪が増える。
サービス業	不動産鑑定評価業務	宮崎	地方経済の景況は、これから更に悪化していくことは確か。雇用問題が今や政治・社会問題にまで及んでいる事実を踏まえて、官民一体となって新分野の開拓、新規市場開拓、そして公共事業関係事業者の業種転換に協力し、その結果、雇用拡大を図っていくべきである。従って、商工会議所の行なう役割は極めて大きいといえる。
サービス業	旅館業	延岡	延岡の人口を保つことが延岡の中小企業を救うことにつながる。宮崎市だけに力を入れるのではなく、延岡へのスポーツ施設や公共施設の誘致に力を入れてほしい。延岡も財産を活かして観光開発に力を入れてほしい。

サービス業	サービス業	日向	1. 急激な規制緩和や改革は、中小零細企業の倒産と失業者の増加を招き、地方経済の立ち直りに悪影響をもたらすことになる。2. 国際競争力をつける諸施策が国内経済の混迷を深めているのではないか。
サービス業	飲食業	日向	今は社会保険、厚生年金の会社負担が大きく、国は今度又、パートの短い人まで加入させようとしています。これでは会社経営は成り立たないと思います。絶対反対です。
サービス業	レストラン	高鍋	地産地消に適したメニューでお客様ニーズに答えているつもりですが、今日のように地球全体で食品の劣悪な問題が次々出ると、田舎の街のレストランまでその影響を強く受けます。日本政府全体で大手の不正には断固たる処置をするよう、強く望みます。政治家は何をしているのかね。
サービス業	ホテル	日南	宮崎県を訪れる県外からの観光客は年々低落しており、宮崎県の観光のあり方を見直すことが急務と思われる。「神話の国宮崎」「自然な宮崎」を広く訴えていくことが今後望まれる。
サービス業	警備保障	日南	国・県の物件は毎年入札方式で、機械(アラーム)監視業務は投資が必要であるため、複数年の契約をお願いする(採算が取れず赤字経営となる)
サービス業	タクシー業	小林	中小企業が生き残れる政策・制度を作る必要がある。
サービス業	自動車整備販売	串間	余りにも急激な規制緩和により、需要の停滞を起こした。
	食品製造販売飲食店	宮崎	経営者は修行僧のように努力精進しないと生き延びられない